

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	保育所保育事業(公立保育所)	会計	一般会計	事業No.	176	施策順No.	37-022
		事業種別	政策・その他	予算科目	3-2-6-11-1		
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり			課等名	子育て支援課		
施策	37 子どもを産み育てやすい環境の充実			事業期間	開始	終了	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	・園児						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		通所児童数(年度末)	1665	1620	1590	1354		
	意図	・園児に対し適正な保育、安全な給食を提供する。						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	適正な保育の実施割合	100	100	100	100	100	100	A
	安全な給食の提供割合	100	100	100	100	100	100	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		公立保育園で適正な保育の提供と安全な給食の提供を行うことができ、支障なく保育所を運営できた。						

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所での保育に必要な消耗品、燃料、光熱水費、給食用賄材料等を購入する。 ・食育への取り組みとして、地元でとれた野菜を給食の食材とする「地元食材の日」を年数回実施。 		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保育材料を使用した保育の実施 ・暖房、照明機器を使用した適切な施設管理 ・給食の提供 ・公立保育所による保育 ・公立保育所の私立化への推進 	公立保育所数 公立保育所児童数 保育日数 食数	20園 1,304人(H22.4) 293日 416,200食/年
23年度実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・保育材料を使用した保育の実施 ・暖房、照明機器を使用した適切な施設管理 ・給食の提供 ・公立保育所による保育 ・公立保育所の私立化への推進 	公立保育所数 公立保育所児童数 保育日数 食数	20園 1,295人 293日 416,200食/年

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 (県)子育て支援対策臨時特例交付金(国1/2)5千円 (そ)公立保育所保護者負担金(現年度分)31,935千円 (そ)公立保育所負担金(他市町村分)3,617千円 (そ)諸収入(給食費実費徴収金)15,663千円 (そ)太陽光発電収入34千円
	国庫支出金					
	県支出金			5		
	起債					
	その他		50,639	51,249	50,639	
一般財源		80,786	72,908	82,523		
計(A)		131,425	124,162	133,162		
正規職員所要時間						
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			0			
トータルコスト A+B			124,162			

4 事業に対する市民や議会の意見

--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	子どもを育てやすい社会環境の充実	施策の成果指標又はムツ指標	子どもを育てやすい社会環境であると感じている対象者の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	・園児が安心して安全に保育を受けられるように、保育で快適に過ごせるようにしてきた。		
	後期に向けた課題			
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・現場の保育士や調理員が園児にとって、よりよい保育や給食の質の向上について検討している。		
	後期に向けた課題			
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・真に必要なものを手当てしている。		
	後期に向けた課題			
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・適切である。		
	後期に向けた課題			
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り			
	後期に向けた課題			
全体を通じて	4年間の振り返り	・園児のために必要最低限のものは手当てできていると考えている。		
	後期に向けた課題			

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------